

学校 番号	22	学校名	篠ノ井高等学校
----------	----	-----	---------

令和3年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和3年 7月 9日（金）（書面会議）】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- ・コロナウイルス感染拡大防止のため、書面会議（7名の学校評議員へ郵送）で実施。
- ・資料送付 7月9日（金）
校長あいさつ、全日制現況、今年度重点目標
令和2年度進路状況、生徒会
学年より
定時制現況、今年度重点目標
- ・資料、ホームページを閲覧後、FAX、メールで感想、提言等をお寄せいただいた。

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・コロナ禍のため、書面会議を実施し、ホームページ、資料によって学校の様子を伝えた。
- ・今年度の特筆すべき取組、進路、開かれた学校づくりなど項目ごとにどのような教育活動をしたかわかりやすく端的にまとめた。
- ・各学年の様子を具体的に記述し、生徒の様子が書面から伝わるようにした。
- ・学校行事や授業の様子などの写真を入れ、学校の様子が視覚的に伝わるように資料を工夫した。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・コロナ禍において、いかに安全・安心を担保しながら、対面での学校活動を復活させ、継続していけるのかがキーであることが理解できた。
- ・昨年、今年とコロナ禍での学校生活は大変だったと推察する。今だ収束が見えないコロナだが、生徒の皆さんには高校生活を工夫しながら思う存分楽しんでいただきたい。
- ・資料・ホームページから、本年度4月～7月上旬の全日制および定時制の活動の様子が大変よくわかった。コロナの影響で活動が制約されているが、学校行事など前向きに実施され、部活動や生徒会活動なども活発に行われているようで、学校らしさを取り戻しつつあるように感じた。
- ・篠ノ井高校の特色をより発揮し、それを伸長させようとする意欲を感じた。大学への進学状況はそのひとつの評価となるものかもしれませんが、年々成績が良くなっているように思う。
- ・全日制の3学年の様子では、高校生活でしか経験できない学校行事（クラスマッチや文化祭など）フルスペックではないにせよ実施できたこと、大変良かったと思う。また、モチベーションを維持しながら、進路希望分野校の情報を集め、それに向けてこの夏を悔いなきよう過ごして頂きたい。強力なアシストをお願いしたい。
- ・全日の2学年の様子では、特進クラスを踏まえたクラス替えで、現場の先生方が日々感じておられる生徒の様子を見守っていただきたいと思う。沖縄への修学旅行が中止になった点、大変残念ですが、別の形で、ぜひ実体験できるかたちで実現させていただきたい。
- ・全日制の1学年の様子では、1年次の特進コースを廃止したメリット、デメリット

について注意深く経過を見ていただければと思う。まずは学校生活に慣れることで、リズムある安定した生活が送れるよう、習慣づけをお願いしたい。

- ・全日制で、「主権者教育」「信州学」を有効に取り入れたか」を本年度の評価の観点として別項目として分けた点が昨年度と違う点と思う。「主権者教育」と「信州学」を、篠ノ井高校の特徴の一つとするようにも思うので、昨年度はどんなことをし、本年度はどのような計画があるのか、知りたかった。
- ・タブレットや Wi-Fi を使用した授業や学習をぜひうまく利用して、教育効果が高くなるだけではなく、IT 関連に優れた生徒さんがたくさん出てくるといいなと思っている。
- ・体験的なカリキュラムを大切にして、座学以外の魅力をより高め、生徒たちが「楽しい」と感じる学びを研究していただきたい。
- ・生徒たちにとっては、将来の目標を見据えるうえで大切な時期でもある。様々な職業を知ることが選択するうえで重要なことだ。そういう意味で「就業体験」は大切で、一人ひとりに向き合った進路指導をお願いしたい。
- ・大学進学を決定する手段として、企業、官公庁、企業にインターンシップをしていると思うが、その説明が欲しい。
- ・区敬老会にギターマンドリンクラブに参加してもらっていたが新型コロナ禍で近年は実施できていない。このような活動を紹介していただければよいのではないか。
- ・環境整備はここご時世だが、ipad 購入など、生徒・保護者に負担がかからないように配慮する必要があると思う。
- ・特進コースは2年次からの設定でよいと思う。
- ・定時制には一定の必要性があり、大切にしていかなければならない場所である。丁寧に発信していただきありがたい。
- ・定時制の資料では、行事や部活動以外に生徒の様子やクラスの雰囲気などについてももう少し説明があるとよい。
- ・定時制日より、HP から定時制の様子がよく伝わってくる。定時制だよりのような活動報告を地元各区に配布していただければ、住民は学校に対してより親密感が増すのではないか。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・コロナ禍で感染対策をとりながら、可能な限り学校教育活動を継続し、学校行事も工夫しながら行っていることをよくご理解いただけた。好意的なご意見が多かった。
- ・対面での開催ではなかったが、写真や数値が入った資料で丁寧な説明を心がけたので、学校で今年度重点としていること、学校や生徒の様子を理解していただけたと思う。
- ・書面開催となったため、なかなかすべてのことを資料だけで説明することが難しく、いただいたご意見をもとに次回の学校評議員会をどうするか検討していきたい。
- ・様々な観点からご意見・ご助言をいただいた。中には、職員だけではなかなか思いつかない視点からもご指摘をいただいている。関係部署で検討をしたい。

※報告書は2枚以上になってもかまいません。実施後、できるだけ早く提出してください。